

令和3年6月市議会定例会

企画管理部

議案説明資料

目 次

【予算案件】

1	令和3年6月 企画管理部補正予算（案）総括表	1 頁
2	マスメディアと連携した企業版ふるさと納税の活用促進について ..	2 頁
3	未来につなぐ都市のデザイン・アーカイブ事業について	3 頁
4	富山市スマートシティ推進事業について	4 頁
5	大沢野地域公共施設複合化事業について	6 頁
6	Street Pianoプロジェクトについて	8 頁
7	文化事業基金への積立について	9 頁
8	共通仮想基盤更新事業について	10 頁
9	内部事務系システム整備事業について	11 頁

【契約案件】

10	特定事業契約締結（大山地域公共施設複合化事業）について	12 頁
----	-----------------------------------	------

1 令和3年6月 企画管理部補正予算（案）総括表

【一般会計】

（単位：千円）

区分 予算科目（款・項）	補正前の額	今回補正額	補正後の額	備考
企画管理部 合計	11,478,858	347,426	11,826,284	
(款2)総務費	11,478,858	347,426	11,826,284	
(項1)総務管理費	3,379,711	▲ 2,810	3,376,901	総務一般管理費（職員人件費） ▲ 2,810
(項2)企画費	8,013,883	350,236	8,364,119	企画事務費 14,500 官民連携推進事業費 320,612 文化振興事業費 1,750 情報管理事務費 13,374
(項6)統計調査費	71,718	0	71,718	
(項7)監査委員費	13,546	0	13,546	

【企画事務費】

2 マスメディアと連携した企業版ふるさと納税の活用 促進について

[企画調整課]

(1) 補正額 2,500千円

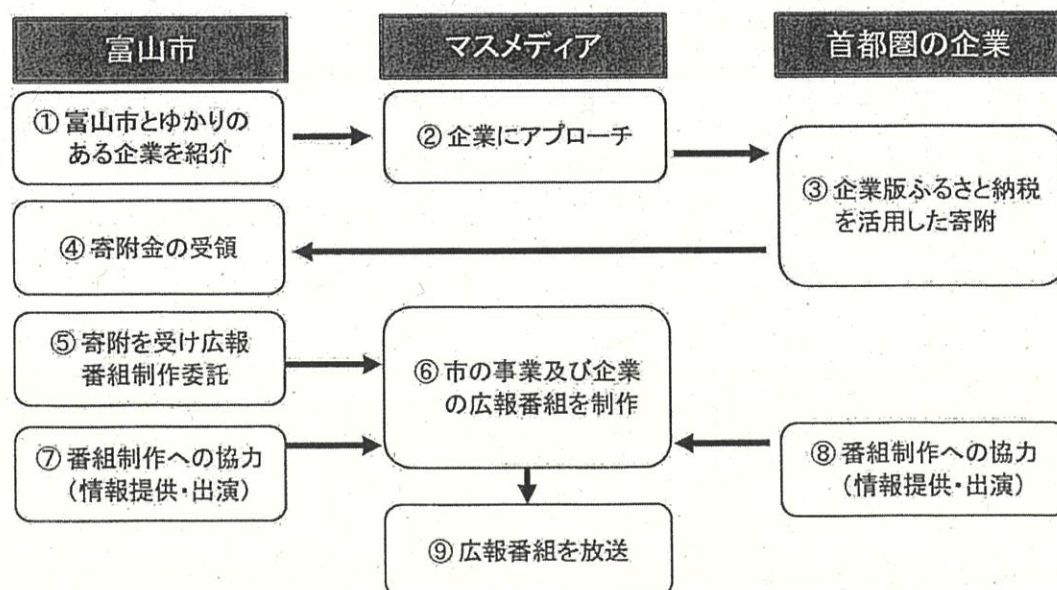
〔 財源内訳 一般財源 2,500千円 〕

(2) 事業目的

本市の財政を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受け、今後も大変厳しいことが見込まれることから、新たな財源を生み出すため、企業版ふるさと納税制度を活用した市への寄附の促進を図るもの。

(3) 事業内容

首都圏に本社機能を持つ本市にゆかりのある企業に対して、東京のマスメディアが、企業版ふるさと納税を活用した本市への寄附を促す。本市に対し寄附があった場合、本市の地方創生に関する事業及び寄附を頂いた企業を紹介する広報番組を制作し、首都圏において放送する。



【企画事務費】

3 未来につなぐ都市のデザイン・アーカイブ事業について

[未来戦略室]

(1) 補正額 5,000千円

〔 財源内訳 一般財源 5,000千円 〕

(2) 事業目的

本市はコンパクトなまちづくりにおいて、富山ライトレールの開業や市内電車の環状線化、さらには南北接続事業に取り組んできたが、こうした一連のLRT事業等を通じ、車両や電停、街路空間の整備など、「トータルデザイン」に基づく統一感のあるまちづくりを進めてきた。こうした取組は全国的にも貴重な先進事例と言われており、同時に市民のシビックプライドの醸成とQOL（生活の質）の向上にもつながっている。

このことから、本市の「トータルデザイン」を意識したまちづくりを多くの方々に認識してもらい、今後の様々な取組に活用してもらうことを目的として、まちの姿の変遷や市民のライフスタイルの変化等を視覚的に伝える書籍等を作成（アーカイブ化）するもの。

さらに、本事業を通じて、未来を担う若者等が本市のまちづくりやその魅力を改めて実感する機会を提供し、シビックプライドの更なる向上と地域への定着を促すとともに、本市のネクストステージのまちづくりに主体的に参画する機運の醸成を図るもの。

(3) 事業内容

ア. トータルデザインワーキングの開催（書籍等編纂に係るコンセプトづくり、関係者インタビュー、スケッチラボを活用したデザイン会議等）

イ. アーカイブ情報の収集・整理（既存情報の整理、新規情報の収集・整理・写真撮影等）

ウ. アーカイブ化（ア、イをまとめた書籍・映像等の作成）

※令和4年度実施予定

【事業費内訳】

委託料 5,000千円 ※上記ア、イを実施

【企画事務費】

4 富山市スマートシティ推進事業について

[未来戦略室]

(1) 補正額 7, 000千円

{	財源内訳	国庫補助金	3, 500 千円
		(地方創生推進交付金)	
	一般財源	3, 500 千円	

(2) 事業目的

本市のコンパクトシティ政策のさらなる深化に向けて、ICT等の新技術を活用し、市民生活の質や利便性の向上を図る「富山市版スマートシティ」のあるべき姿や推進方針等について調査・検討するもの。

(3) 事業内容

本市がこれまで進めてきた「富山市センサーネットワーク」や「富山市ライフライン共通プラットフォーム」等の取組を踏まえながら、本市が目指すべきスマートシティの将来像を描くとともに、その実現に向け、解決すべき課題や解決の方向性、産学官民の役割や推進方針等について（仮称）「富山市スマートシティ推進ビジョン」として取りまとめるもの。

検討にあたっては、全庁横断的な検討会議や有識者会議、中堅・若手職員を中心としたワーキンググループ（WG）を組織するとともに、「スケッチラボ」を活用し、市民や企業、大学など、多様なステークホルダーの意見を取り入れながら、市民が真に生活の質や利便性の向上を実感することのできるスマートシティの実現を目指す。

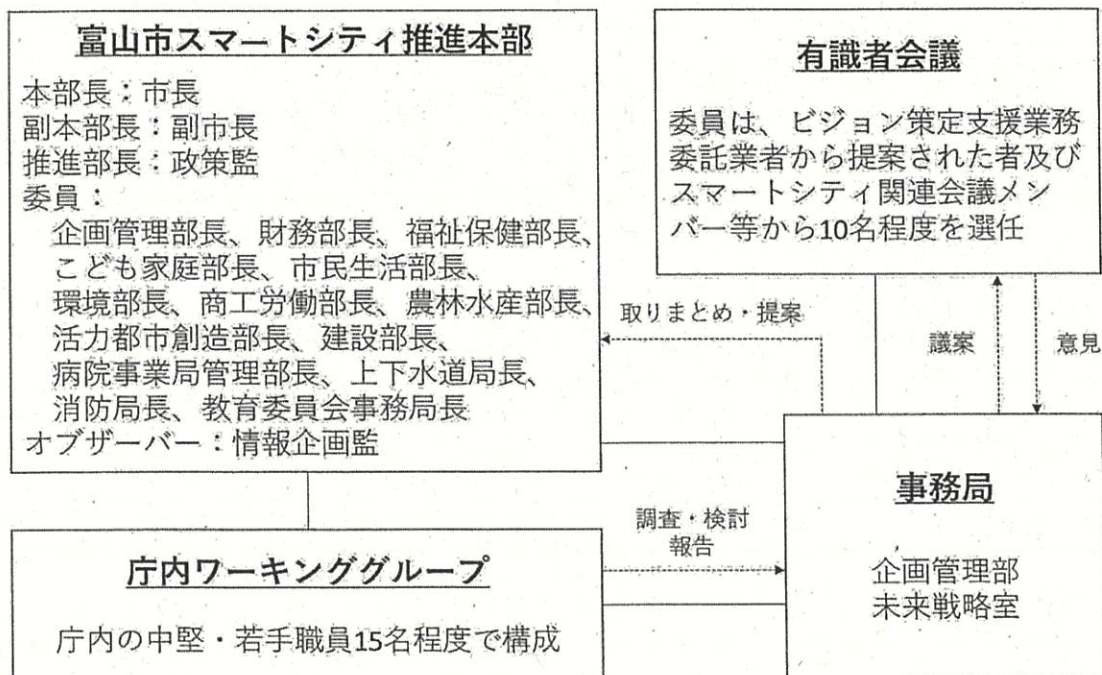
【事業費内訳】

ア. 有識者会議開催費（報償費、旅費）	356千円
イ. ビジョン策定支援業務委託（委託料）	6, 222千円
ウ. 庁内検討会議・WG関係費（旅費・消耗品費）	422千円

(4) 想定スケジュール

- 令和3年度
- ・ 庁内検討会議の設置及び開催（2回程度）
 - ・ 庁内ワーキンググループの設置及び開催（月1回程度、先進地視察・報告書作成等）
 - ・ 有識者会議の設置及び開催（2回程度）
 - ・ (仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン(中間報告)の作成
- 令和4年度
- ・ 庁内検討会議の開催（1回程度）
 - ・ 有識者会議の開催（1回程度）
 - ・ (仮称)富山市スマートシティ推進ビジョンの策定

(5) 実施体制（案）



【官民連携推進事業費】

5 大沢野地域公共施設複合化事業について

[行政経営課]

(1) 補正額 320,612千円【令和3年度 解体工事分】

{	財源内訳	市債	288,500千円	}
		(公共施設等適正管理推進事業債)		
	一般財源	32,112千円		

(2) 事業目的

市がPFI手法により整備を行う大沢野地域公共施設複合化事業について、令和3年3月議会での議決(3月15日)後に締結した特定事業契約に基づき、PFI事業者が実施した解体対象施設のアスベスト含有量調査の結果を受け、市では、今回、アスベスト除去に係る必要な予算措置を講じるもの。

(3) 事業内容

① アスベスト調査について

<調査実施期間>

令和3年3月22日～令和3年4月14日

<解体対象施設の概要>

番号	施設名称	建築 年度	含有の 有無	解体予定年度
1	旧大沢野文化会館	S55	有	令和3年度
2	旧大沢野青少年体育センター	S49	有	
3	旧大沢野武道館	S51	有	
4	大沢野行政サービスセンター	S48	有	令和5年度

② 解体の事業スケジュール(予定)

令和3年 4月 アスベスト調査

7月～2月 解体工事(アスベスト除去含む)

令和5年10月～3月 解体工事(アスベスト除去含む)

(4) 債務負担行為の追加

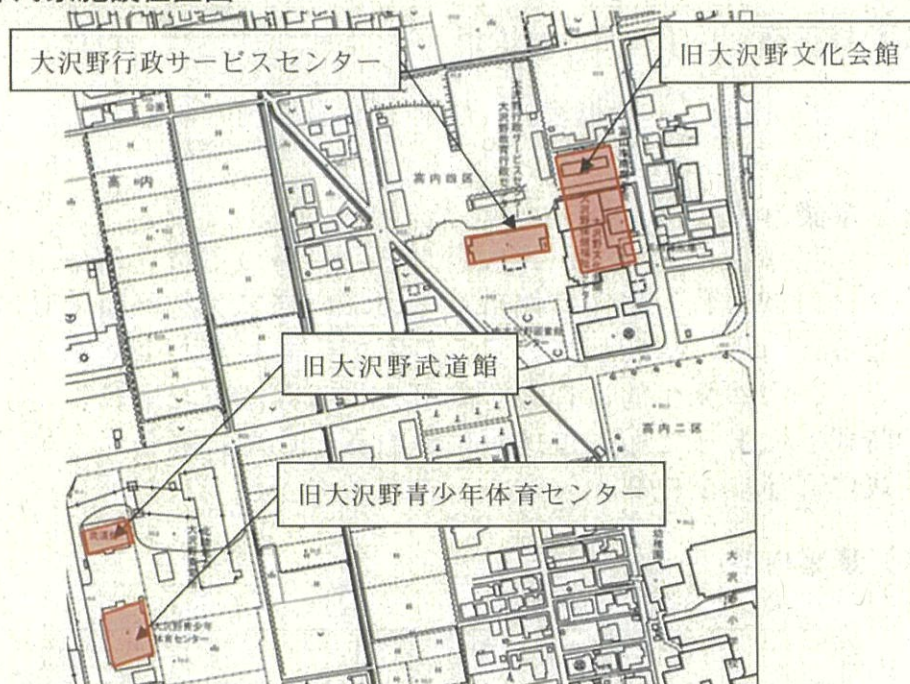
<設定期間>

令和4年度～令和5年度

<限度額>

36,888千円【令和5年度 解体工事分】

(5) 解体対象施設位置図



(6) 鳥瞰イメージ



(左：既存施設（現大沢野生涯学習センター）、中央：新設施設、中央奥：自主提案施設（温浴施設）)

【文化振興事業費】

6 Street Pianoプロジェクトについて

[文化国際課]

(1) 補正額 1,700千円

〔 財源内訳 一般財源 1,700千円 〕

(2) 事業目的

市民が憩うまちなかの広場などに、かつて市立幼稚園や児童館などに設置され、現在は使用していないピアノを移転・設置し、来場者等に自由に演奏してもらうことで、まちなか全体をステージと見立て、自然発生的に音楽が奏でられる雰囲気醸成し、「コロナの時代」にあっても、市民が生き生きと豊かに暮らせる地域社会の形成に寄与するもの。

(3) 事業内容

ア. ピアノの移転・設置 150千円

	設置場所	ピアノの種類
①	富山駅南北自由通路（北側）	グランドピアノ
②	ウエストプラザ	アップライトピアノ
③	オーバード・ホール（1階）	

イ. 設置ピアノのペインティング装飾 450千円

富山大学芸術文化学部（学生等）に依頼し、ピアノにペインティング装飾を施すことで明るい空間を演出する。

ウ. 事業周知のためのプロモーション 900千円

多くの方々の演奏を促すため、桐朋学園の学生等に演奏してもらうとともに、プロモーション用CMやPR番組を制作・放送する。

エ. その他事務費 200千円

【スケジュール（予定）】

- ・ 7月下旬～：設置ピアノのペインティング装飾
- ・ 8月中旬～：一般開放、事業周知のためのプロモーション（随時）

【文化振興事業費】

7 文化事業基金への積立について

[文化国際課]

(1) 補正額 50千円

〔 財源内訳 一般財源 50千円 〕

(2) 補正の目的

令和2年度末に受け入れた法人1社からの寄附金50千円を文化事業基金に積み立てるもの。

(3) 文化事業基金の状況

令和2年度末 現在高 (A)	令和3年度		
	6月補正 積立額 (B)	令和3年度 取崩予定額 (C)	令和3年度末 現在高見込 (A) + (B) - (C)
144,408,774円	50,000円	25,000,000円	119,458,774円

【情報管理事務費】

8 共通仮想基盤更新事業について

[情報統計課]

(1) 予算額 10,800千円

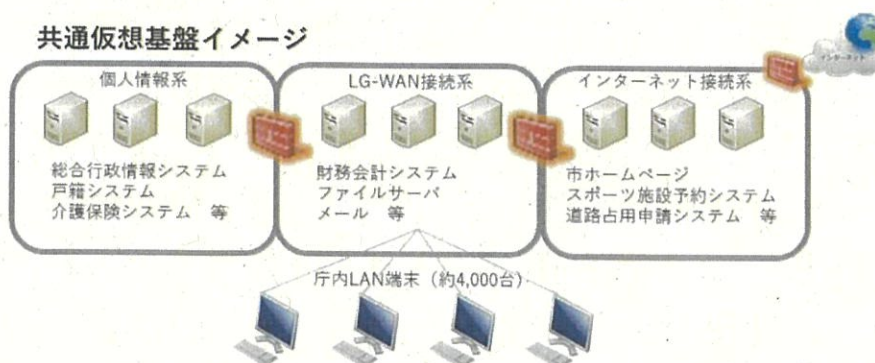
〔 財源内訳 一般財源 10,800千円 〕

(2) 事業目的

市は、平成23年頃から各種情報システムに係る調達経費の削減と保守作業の軽減等を目的に、個々の物理サーバを廃止し、共通仮想基盤への集約化を進めてきた。現行の共通仮想基盤を構成する機器の多くが導入から5年以上経過し、更新時期を迎えており、万が一、共通仮想基盤が停止した場合には、市の基幹業務等に著しい支障が生じることから当該機器の更新を行うもの。

(3) 事業内容

基本的な共通仮想基盤の構造（3層分離等）については現行を踏襲することとし、富山市情報システム全体最適化計画に基づき、バックアップ基盤等を含めた仮想基盤全体の機器構成が最適となるよう、各種機器の更新を実施する。



<事業費の内訳>

共通仮想基盤更新に係るリース料(5年リース)

10,800千円(1か月分)

【機器調達費・設定作業費等(全体事業費) 600,000千円】

【情報管理事務費】

9 内部事務系システム整備事業について

[情報統計課]

(1) 予算額 2, 574 千円

〔 財源内訳 一般財源 2, 574 千円 〕

(2) 事業目的

富山市情報システム全体最適化計画に基づき、行政文書の適正な管理及び業務の効率化の実現等を図るため、行政文書の電子的管理を基本とした文書管理システム及び電子決裁システムを新たに構築するもの。

(3) 事業内容

文書管理・電子決裁システム構築業務

文書の収受、起案文書の作成、回議・回覧・決裁、施行、保管、検索、廃棄等を行うシステムで、行政のデジタル化において核心となる文書管理システムと当該システムを利用するために必要となる電子決裁システムのパッケージを調達し、原則ノンカスタマイズで構築するもの。今後、財務会計や庶務事務等の内部事務に関しても、順次新規システムの導入を計画的に行っていく。

文書管理
システム

財務会計
システム

人事給与
システム

会計年度任用
職員システム

庶務事務
システム

《起案・申請・稟議・決裁》

電子決裁システム

※各システム共通の電子決裁基盤

<事業費の内訳>

文書管理・電子決裁システム構築に係るリース料（5年リース）

2, 574 千円（1か月分）

【機器調達費・システム構築費等（全体事業費） 143, 000 千円】

10 特定事業契約締結（大山地域公共施設複合化事業）

について

[行政経営課]

（１）趣 旨

大山地域公共施設複合化事業において、行政サービスセンターや図書館等の公共機能を備えた複合施設の整備及びその維持管理等を行う特別目的会社（ＳＰＣ）との間で事業契約を締結するもの。

（２）契約金額

2, 3 3 3, 6 3 6, 7 4 6 円に事業契約約款に定める方法による金利変更及び物価変動による増減額並びに当該額に係る消費税及び地方消費税相当額による増減額を加算した額

（内訳）

項 目	事業費
施設整備費	1, 4 2 8, 7 7 3, 3 0 2 円
維持管理費	3 8 4, 1 6 5, 0 0 0 円
解体撤去費	3 1 4, 0 0 0, 0 0 0 円
消費税等	2 0 6, 6 9 8, 4 4 4 円
合 計	2, 3 3 3, 6 3 6, 7 4 6 円

（３）施設概要

（仮称）大山地域公共施設複合化施設＜新築＞

[敷地面積] 1 3, 4 7 0. 9 7 m²

[延床面積] 2, 5 4 7. 3 0 m²

[建物構造] 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造、地上 2 階建て

[主な用途]

（西棟） 1 階 執務室、会議室、相談室、多目的室 等

2 階 和室、調理実習室、図書館開架室 等

（東棟） 1 階 多目的ホール、歴史・文化等展示スペース 等

[解体対象施設]

解体年度	施設名称
令和 3 年度	大山竪穴住居跡展示館
令和 5 年度	大山行政サービスセンター（別館含む）、大山地域市民センター、旧大山文化会館、大山図書館

(4) 契約の相手方

株式会社大山ファースト＜特別目的会社（SPC）＞

(5) 契約期間

議決日～令和20年3月31日

(6) 今後のスケジュール（予定）

令和 3年 6月～	設計
令和 3年10月～	解体工事着手
令和 3年12月～	建設工事着手
令和 5年 4月～	供用開始
令和20年 3月	事業契約の終了

(7) 鳥瞰イメージ



（左：公用車車庫、中央：西棟＜行政サービスセンター・図書館等＞、右：東棟＜多目的ホール等＞）

(8) アスベスト処理（予定）

特定事業契約締結後、PFI事業者が解体施設に関してアスベスト含有量調査を実施することとしており、その調査結果を踏まえ、今後、アスベスト処理に関する費用を別途予算計上する可能性がある。